

れば、本當の運動が起りやう等がない。
 少數の指導者が如何に音高く笛を吹いて見たところが、民衆は踊りはしない。民衆自身の中に眞に踊らうとする要求が起つて來ないうちには、すべては空しい努力である。又單なる野心家の笛に輕はつみに踊り出すやうな民衆であつてもならない。指導者の爲めに動くやうな民衆でも、まだ盲目である。指導者を殆んど必要としない迄に行かなくてはならない。率ゐられてする運動でなく、下の方から自然に起つて來る運動でなくては何にもならない。吾々はその時の來るのを待つより外ない。徒らに煽動して、盲目的に動かさしめることは、却つて其處に大なる危険がある。先づ何よりも大切なのは、ただ眼れる民衆に對しては、彼等をして眞に目覺めさせることである。眞の運動を起すものは彼等自身である。自由はたゞ自分の力に依つてのみ得られるものであることを思はなくてはならない。

3 智識階級への警告

知識階級と呼ぶる者の中には、有産階級に屬する者もあることは言ふ迄もない。然しその大部分は、無産者か半無産者である。そして知識階級の中には智識や著述家や翻譯家や對策士などのやうに獨立し

自由職業に従事してゐる者もないではないが、その多くは月給取り即ち俸給生活者である。彼等は自身の職業上に眞の自由を有してゐない。彼等は人から與へられた仕事をしてゐるのである。外部からの意志に支配されて働かなくてはならないのである。即ち何等かの形式に於て、自分が支配されてゐる主人を持つてゐるのである。その點に於ては多くの労働者と少しも變りはない。彼等は自分自身の主人では決してない。つまり他の意志に支配され動かされてゐるのであるから、奴隸状態に置かれてゐるのであると言はなくてはならない。

然るに多くの知識階級に屬する人々は、自分の奴隸状態におかれてゐることには、餘り多く氣附いてゐないやうである。彼等は常に労働者よりは優れた階級に屬した者であるといふ誇りを持つてゐる。そして無産者の解放運動に對して多くは冷淡であり、中には資本家の走狗となつて、却つて労働者を壓迫しようとしてゐる者も尠くない。その多くは確かにブルジョア的な偏見に囚へられてゐる。自分自身先づ第一に解放されなくてはならない状態におかれてゐることに少しも思ひ當らないでゐる。彼等は資本家や支配者に備はれてゐる身であるといふことが、何を意味するかといふことを十分に理解してゐないやうである。そして唯資本家に忠勤を盡すことをもつて、全ての能事である如く考へてゐる者が尠くないやうである。即ち備主の爲めになり、備主を儲けさせてやることが、自分の利益である

自由社會の創造